

とやま さいはっけん  
**富山でコガタノゲンゴロウを再発見！**

突然ですが私はゲンゴロウが大好きです。水がきれいで水草がたくさん生えている池を見つけると、ここにはどんなゲンゴロウがすんでいるのかいつも気になり、わくわくします。そして、期待通りのゲンゴロウが見つかったら、とてもうれしいです。今回はそんなゲンゴロウに関するお話です。

**ゲンゴロウとは？**

主に池や水田にすむ水生昆虫です。オールのような脚を使って自由に泳ぎ回ることができます(図1)。昆虫の中で最も泳ぎが得意な仲間の一つといえるでしょう。50年ほど前までは全国各地で普通にみられましたが、池

が無くなったり水が汚れたりして、最近では激減しています。富山でもナミゲンゴロウ(図1左)やマルガタゲンゴロウ(図1右)などの大型・中型種はほぼ絶滅しています。

**コガタノゲンゴロウの再発見！**

減少が激しいゲンゴロウ界で近年、注目の種がいます。それはコガタノゲンゴロウです。この種は、最近、西日本を中心に各地で増加傾向にあります。その理由はよくわかっていませんが、ゲンゴロウ好きな私は、いつか富山でも再発見したいと考えていました。そんな時、博物館に一本の電話がかかってきました。相手は、よく一緒に昆虫調査をしている方。「コガタノゲンゴロウおったよ!」と、電話口からすごい一言が飛び出しました。驚きのあまり、ドラマで見るように、ガタガタッとイスから立ち上がってしまいました。2018年秋のできごとでした。これにより、富山では66年ぶりの再発見となりました。しかし、発見個体は1頭のみであることなどから、この個体はおそらく石川などの近くの県からたまたま飛んできたものだと考えられます。今後、富山にずっとみられるようになるのか、とても気になっています。(岩田朋文)



図1 ナミゲンゴロウ(左)、マルガタゲンゴロウ(右)  
(スケールバーはともに1cm)

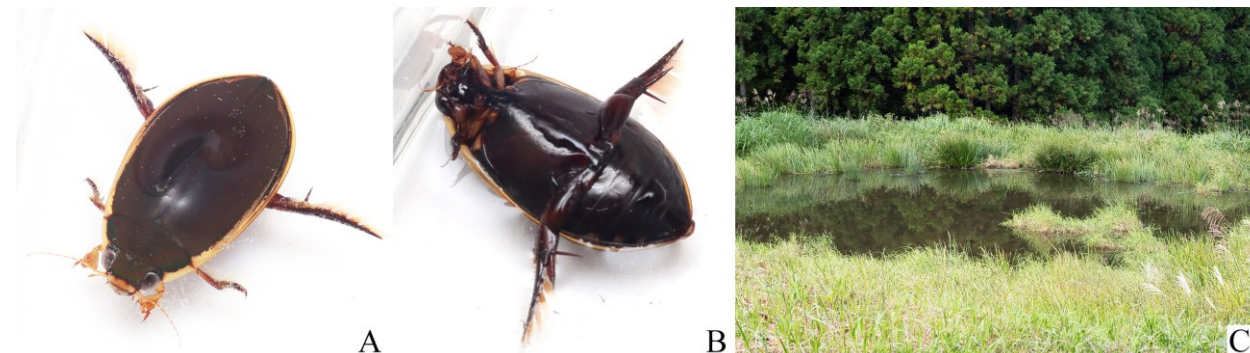


図2 富山で再発見されたコガタノゲンゴロウ(A、B)(体長2.5cmほど)と見つかった池(C)

今月のかがくのギモン：庭においた子ども用プールに、アメンボが泳いでいました。どうやって来たのでしょうか？(答えは当館ホームページをご覧ください)